

ネットワークアンケート ②1

糖尿病ネットワークを通して
医療スタッフに聞きました

Q. 糖尿病患者さんから、恋愛や結婚などについて相談を受けたことはありますか？

糖尿病患者さんの療養生活のなかで、家族やパートナーの存在は大きな心の支えとなります。しかし、糖尿病があることで相手に嫌われないだろうか、結婚や妊娠・出産は大丈夫だろうか、等々、パートナーとの関係に悩んでおられる方は多いと言われます。そこで今回は、糖尿病患者さんの恋愛と結婚についてうかがってみました。

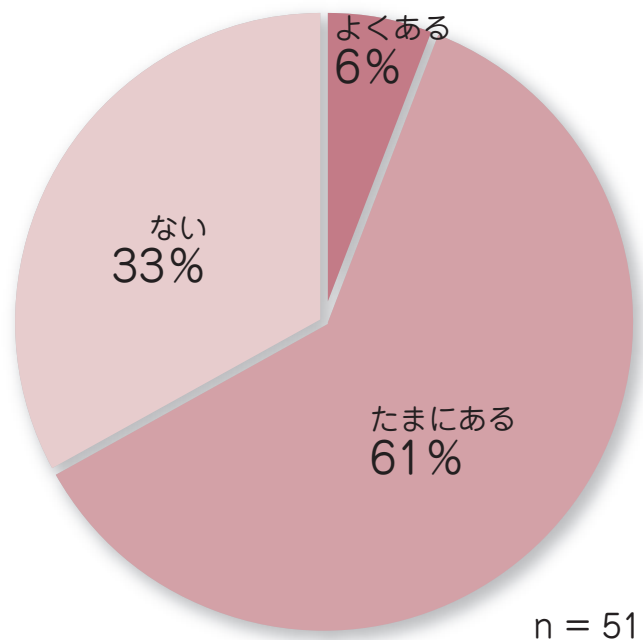
[回答数：医療スタッフ51(医師12、看護師15、准看護師1、管理栄養士9、薬剤師9、保健師1、理学療法士2、その他2。うち日本糖尿病療養指導士14)、患者さんやその家族200名(食事療法を行っている134、運動療法を行っている108、経口薬を服用している68、インスリン療法144/重複回答有)]

糖尿病患者さんからの相談について、相談を受けたことが「ある」と回答された方は67%でした。相談を受ける患者さんとして「多い」としたのは、46%が「若い患者(10~30代)」、43%が「インスリン療法を行っている患者」、39%が「1型糖尿病患者」と続き、相談内容では「妊娠中や出産後のこと」、「結婚生活への不安」などが多いようです。

「糖尿病のある女性は、計画的な妊娠

が大切である」ことについては、84%が「知っている」との結果でしたが、職業別にしてみると、「聞いたことはあるが、詳しくは知らない」と答えた医師が17%と高値でした。‘外来でどこまで干渉す

べきか悩む’‘糖尿病であっても血糖値をしっかり管理することで、出産して子どもを育てられるから、恋愛や結婚に臆病にならないでほしい’といった声も寄せられました。



Q. どのようなことを相談されることが多いですか？ Q. 糖尿病のある女性は、計画的な妊娠が大切なことをご存知ですか？ (n=51)

